

南家由紀、赤真秀人、寺井千尋、 <u>原まさ子</u> 、鎌谷直之	D-ペニシラミンで誘発されたMPO-ANCA陽性急速進行性糸球体腎炎を呈した慢性関節リウマチの一例	日本臨床免疫学会誌	22(5):354-359, 1999
<u>原まさ子</u>	早期慢性関節リウマチ	日医雑誌	123(6):43-45, 2000
<u>原まさ子</u>	新しい抗リウマチ薬T614	流	205:41, 2000
<u>原まさ子</u>	高齢者の生活習慣と高尿酸血症、痛風	老年医学	38(4):503-508, 2000
<u>原まさ子</u>	多発性筋炎/皮膚筋炎私の処方	モダンフィジシャン	20(6):808-809, 2000
<u>原まさ子</u>	慢性関節リウマチ、膠原病	J Clinical Rehabilitation	別摺:298-312, 2000
<u>原まさ子</u>	多発性筋炎・皮膚筋炎の治療	最新医学55.6月増刊号	203-212, 2000
<u>原まさ子</u>	リウマチと妊娠	産婦人科治療	80(6):1206-1209, 2000
<u>原まさ子</u>	膠原病におけるイレウス症状	モダンフィジシャン	20(5):661, 2000
<u>原まさ子</u>	リウマチ性多発筋痛症の治療	今月の治療	8(5):74-76, 2000
<u>原まさ子</u>	免疫抑制剤によるRAの免疫療法	第8回東北臨床免疫懇談会講演記録集	27-40, 2000
南家由紀、立石陸人、山県元、 <u>原まさ子</u> 、鎌谷直之	急性進行性の間質性肺炎により死亡したAmyopathic Dermatomyositisの1例	リウマチ	40(4):705-710, 2000
川口鎮司、 <u>原まさ子</u>	多彩な強皮症腎とその治療	内科	86(2):317-320, 2000
<u>原まさ子</u>	全身性エリテマトーデス	Medical Practice	17(10):1659-1664, 2000
<u>原まさ子</u>	多発性筋炎・皮膚筋炎と免疫グロブリン大量療法	治療学	34(11):65-67, 2000
松本純子、針谷正祥、西間木江美、仙道和子、南家由紀、中西久、樋上謙士、小林茂、寺井千尋、 <u>原まさ子</u> 、鎌谷直之	急性膵炎を発症したシェーグレン症候群と全身性硬化症の合併例	リウマチ	40(3):620-626, 2000
針谷正祥、 <u>原まさ子</u>	慢性関節リウマチとアボトーシス	整形・災害外科	43(9):2000
田中栄一、岡村僚久、太田修二、中川美紀、西間木江美、岡本完、上里雅史、深沢千賀子、川口鎮司、針谷正祥、寺井千尋、 <u>原まさ子</u> 、鎌谷直之、奥平真紀	発熱、関節痛、胸水、高血糖にて急性発症したEBウイルス感染症の1症例	関東リウマチ	34:183-191, 2000
Kikukawa K, Toyama H, <u>Yoshida S</u> , et al.	Early and delayed Tc-99m ECD brain SPECT in SLE patients with CNS involvement.	Ann. Nuclear Med.	14:25-32, 2000
Fukaya S, Oshima H, <u>Yoshida S</u> , et al.	KL-6 as a novel marker for activities in interstitial pneumonia in connective tissue diseases.	Rheumatol. Int.	19:223-225,2000
Sato H, Hashimoto A, <u>Yoshida S</u> , et al	Validity and reliability of a revised Japanese version of the Arthritis Impact Measurement Scales version 2 (AIMS2).	Mod. Rheumatol.	10:247-255, 2000

水谷昭衛、田中郁子、 <u>吉田俊治</u> 、他	ミエロペルオキシダーゼに対する抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)関連腎炎を伴った強皮症でステロイドパルス療法が奏効した1症	リウマチ	40:828-832, 200
<u>吉田俊治</u>	膠原病性肺高血圧症の診断と治療	リウマチ科	23:64-71, 2000
<u>吉田俊治</u>	線維筋痛症候群	日本臨床(領域別症候群シリーズNo.31)	免疫症候群(上巻):413-416, 2000
田中郁子、 <u>吉田俊治</u>	慢性関節リウマチの治療	臨床看護	6:1368-1372, 2000
<u>吉田俊治</u>	ガンマグロブリン大量静注療法の適応と有効性	Medical Practice	17:1743-174, 2000
<u>吉田俊治</u> 、小島和夫、田口博章、他	MESACUP-2テストSS-A、SS-Bによる抗SS-A/Ro抗体、抗SS-B/La抗体の測定	医学と薬学	5:137-146, 2001
<u>吉田俊治</u>	オーバーラップ症候群	MCTD、治療(増刊号)	83:1194-1198, 2001
<u>Kitasato, H.</u> , Okamoto, R, Kawai, S.	Absence of p53 mutation in Japanese patients with rheumatoid arthritis.	Arthritis & Rheum.	43(2), 469-70, 2000
Egawa, K, Ono, T, <u>Kitasato, H.</u>	A case of viral wart with particular fibrillar intracytoplasmic inclusion bodies.	Dermatology	200(3):275-278, 2000
Egawa, K, <u>Kitasato, H.</u> , Ono, T.	A palmar epidermoid cyst, showing histological features suggestive of eccrine duct origin, developed after a beesting.	Br J Dermatol.	143(2):469-70,2000
Liu, J, Akahoshi, T, Jiang, S, Namai, R, <u>Kitasato, H.</u> , Endo, H, Kameya, T, Kondo, H.	Induction of neutrophil death resembling neither apoptosis nor necrosis by ONO-AE-248, a selective agonist for PGE2 receptor subtype 3.	J Leukoc Biol.	68(2):187-93, 2000
Inoue M, Kuga A, Kaieda S, Hosaka M, <u>Kitasato H.</u> , Sato Y, Okamoto R, Eda T, Hoshino, K, Seto I.	In vitro antibacterial activity of prulifloxacin, a new oral quinolone, and comparative susceptibility rate at clinical breakpoint MIC.	Jpn J Antibiot.	53(9):593-608, 2000
Hosaka Y, Irinoda K, Nakano R, <u>Kitasato H.</u> , Okamoto R, Saigenji K, Inoue M.	Antibacterial activity of 16 antibiotics against Helicobacter pylori.	Jpn J Antibiot.	53(10):623-30,2000
Yano, H, Kuga, A, Okamoto, R, <u>Kitasato, H.</u> , Kobayashi, T, Inoue, M.	A plasmid-encoded metallo-beta-lactamase (IMP-4) that confers expanded-spectrum Carbapenem resistance.	Agents Chemother.	in press
Kuwana M, Kaburagi, J, <u>Kitasato H.</u> , Kato, M, Kawai S, Kawakami Y, Ikeda, Y.	Immunodominant epitopes on glycoprotein IIb-IIIa recognized by autoreactive T cells in patients with immune thrombocytopenic purpura	Blood	in press
Minatani M, Takasaki J, Iwata H, Kinoshita M, <u>Aotsuka S.</u> , Sumiya M.	Acute interstitial pneumonia associated with antiphospholipid syndrome in a patient with systemic sclerosis.	Clin Exp Rheumatol	18: 786-786, 2000
<u>青塚新一</u>	混合性結合組織病 (MCTD)	year note 2001	837-843, 2000
Hirata, D., Iwamoto, M., <u>Yoshio, T.</u> , Okazaki, H., Masuyama, J-I., Mimori, A., Minota, S.	Nucleolin as the earliest target molecule of autoantibodies produced in MRL/lpr lupus-prone mice.	Clin. Immunol.	97 : 50-58, 2000

Mimori, A., Suzuki, T., Hashimoto, M., Nara, H., <u>Yoshio, T.</u> , Masuyama, J-I., Okazaki, H., Hirata, D., Kano, S. Minota, S.	Subarachnoid hemorrhage and systemic lupus erythematosus.	Lupus	9 : 521-526, 2000
Mimori, A., Suzuki, T., Nakajima, K., Masuyama, J., <u>Yoshio, T.</u> , Kano, S. Minota, S.	Clinical features of dermatomyositis in the presence or absence of malignancy.	APJR	3 : 217-220, 2000
Mimori, A., Suzuki, T., Satoh, H., Nara, H., Masuyama, J., <u>Yoshio, T.</u> , Kano, S. Minota, S.	Dermatomyositis and cutaneous necrosis : report of five cases.	Mod. Rheumatol.	10 : 117-120, 2000
Okazaki, H., Sato, H., Kamimura, T., Hirata, D., Iwamoto, M., <u>Yoshio, T.</u> , Mimori, A., Masuyama, J-I., Kano, S. Minota, S.	In vitro and in vivo inhibition of activation induced T cell apoptosis by bucillamine.	J. Rheumatol.	27 : 1358-1364, 2000
金子尚子、三森明夫、馬場聡、奈良浩之、城田祐子、長嶋孝夫、平田大介、 <u>吉尾卓</u> 、岡崎仁昭、狩野庄吾、箕田清次	わずか2年の経過で続発性アミロイドーシスを来したステイル病の1症例。	リウマチ	40 : 633-638, 2000
三森明夫、奈良浩之、金子尚子、城田祐子、武田昭、益山純一、 <u>吉尾卓</u> 、狩野庄吾、箕田清次	微小血管傷害性溶血と血小板減少を示した全身性強皮症の3例。	日臨免会誌	23 (1) : 57-63, 2000
<u>吉尾卓</u>	アレルギー性肉芽腫性血管炎 (Churg-Strauss症候群)。	別冊日本臨床領域別症候群シリーズ No.29 神経症候群	IV : 290-293, 2000
Tanaka M, Kishimura M, Ozaki S, Osakada O, Hashimoto H, <u>Okubo M</u> , Murakami M, and Nakao K.	Cloning of novel soluble gp130 and detection of its neutralizing autoantibodies in rheumatoid arthritis.	Journal of Clinical Investigation.	106:137-144, 2000
<u>大久保光夫</u> 、前田平生	輸液・輸血のコモンセンス 輸血療法を始める前に-患者の診かた	診断と治療	88 : 763-766, 2000
<u>大久保光夫</u> 、前田平生	エリスロポエチンの臨床応用の現状と展望-自己血輸血。	分子細胞治療	1 : 16-18, 2000
<u>大久保光夫</u> 、前田平生	免疫不全-最新の病態と治療 Bare lymphocyte syndromeの病因・病態と治療。	小児内科	32 : 2049-2053, 2000
<u>大久保光夫</u>	不規則抗体スクリーニング	日母医報	9 : 10-11, 2000
<u>大久保光夫</u> 、前田平生	血液疾患の外来治療 輸血療法	今月の治療	9 : 89-91, 2000
<u>大久保光夫</u> 、池羽一紀、鈴木康文、阿南昌弘、斉藤麻紀、木村昌行、竹田省、木下勝	進行卵巣癌における末梢血幹細胞移植併用周期的semi-high dose化学療法の臨床効果	自己血輸血	13 : 223-234, 2000

2.単行本

著者名	題名	書名	編集者名	発行社 (発行地名)	頁, 西暦年号
近藤啓文	喉と腹部症状を主体に来院した42歳女性	専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ・5 膠原病リウマチ (第2版)	橋本博史	日本医事新報社 (東京)	109-121, 2000
近藤啓文、岡田 純	免疫の異常：看護の基礎科学	からだの異常病態生理学 II	北本清	日本看護協会出版社 (東京)	261-303, 2000
近藤啓文	非ステロイド系消炎鎮痛薬(NSAIDs) (酸性)と腎障害	この薬のこの副作用 第2版	松田重三	医歯薬出版 (東京)	268-271, 2000
近藤啓文		膠原病診療；専門医によるベストアドバイス	竹原和彦、近藤啓文、桑名正隆、宮地良樹	診断と治療社 (東京)	2000
遠藤平仁、近藤啓文	強皮症の診断と治療	知っておきたい膠原病の新たな診療	安倍達、榎野博史	真興交易	125-134, 2000
近藤啓文	薬物・化学物質誘発性自己免疫疾患 強皮症、強皮症類似疾患	領域別症候群シリーズ No.31 免疫症候群 上巻		日本臨床社 (大阪)	494-499, 2000
近藤啓文	ウェゲナー肉芽腫症	今日の治療指針 2001年版	多賀須幸男、尾形悦郎、山口徹、北原光夫	医学書院 (東京)	644-645, 2001
近藤啓文	非ステロイド抗炎症剤	治療薬ガイド2001-2002	medical practice 編集委員会	文光堂 (東京)	872-877, 2001
近藤啓文	リウマチナビゲーター	混合性結合組織病 (MCTD)	中村耕三、山本一彦、原まさ子	メディカルレビュー社	200-201, 2001
近藤啓文	全身性硬化症 (強皮症)	血管炎	橋本博史	朝倉書店	305-310, 2000
三崎義堅	自己免疫疾患-自己免疫寛容の破綻-	岩波講座 現代医学の基礎11 感染と生体防御	竹田美文、渡辺武	岩波書店	179-200, 2000
三崎義堅、山本一彦	免疫疾患	臨床遺伝子医学ガイドンス	小澤敬也	南山堂	234-248, 2000
三森経世	フェルティ症候群	今日の治療指針2000	多賀須幸男、尾形悦郎	医学書院 (東京)	639-640, 2000
三森経世	内科疾患における免疫抑制薬の使い方-膠原病とリウマチ性疾患	「免疫抑制薬の選び方と使い方」	三森経世	南江堂 (東京)	73-85, 2000
三森経世	慢性関節リウマチ治療でNSAIDsとメトトレキサートは併用してよいか?	「NSAIDs Q&A」	川合真一、山本一彦	日本医学出版 (東京)	76-77, 2000
三森経世	慢性関節リウマチ治療でNSAIDsとDMARDsは併用してよいか?	「NSAIDs Q&A」	川合真一、山本一彦	日本医学出版 (東京)	78, 2000
三森経世	慢性関節リウマチ治療でNSAIDsとステロイド薬は併用してよいか?	「NSAIDs Q&A」	川合真一、山本一彦	日本医学出版 (東京)	79-80, 2000

三森経世	全身性エリテマトーデスに合併した大腿骨頭壊死	「膠原病診療—専門医によるベストアドバイス—困ったときにどう考えるか」	竹原和彦、近藤啓文、桑名正隆、宮地良樹	診断と治療社(東京)	62-63, 2000
三森経世	抗てんかん薬服用中に発症した全身性エリテマトーデス様症状	「膠原病診療—専門医によるベストアドバイス—困ったときにどう考えるか」	竹原和彦、近藤啓文、桑名正隆、宮地良樹	診断と治療社(東京)	64-65, 2000
三森経世	抗核抗体検査	「知っておきたい膠原病の新たな診療」	安倍達、横野博史	真興交易医書出版部(東京)	87-100, 2000
高崎芳成	ひとアジュバント病	今日の治療指針2000年版(デスク版)	多賀須幸男, 尾形悦郎編	医学書院, (東京)	653-654, 2000
高崎芳成	ひとアジュバント病	今日の治療指針2000年版(ポケット版),	多賀須幸男, 尾形悦郎編	医学書院, (東京)	653, 2000
高崎芳成	全身倦怠感,脱力感,顔面のむくみ,四肢の冷感,関節痛,労作時の息切れを主訴に受診した33歳女性	専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 5, 膠原病・リウマチ 第2版	橋本博史	医事新報社, (東京)	102-111, 2000
高崎芳成	レイノー病・レイノー現象	神経ブロック	宮崎東洋	真興交易(株)医書出版部, (東京)	46-48, 2000
高崎芳成	ペニシラミンと重症筋無力症	この薬のこの副作用	松田重三	医歯薬出版, (東京)	338-341, 2000
高崎芳成	慢性関節リウマチ以外の膠原病におけるNSAIDsの選び方と使い方	NSAIDs Q&A	川合眞一, 山本一彦編	日本医学出版, (東京)	99-101, 2000
高崎芳成	TNF-308AとHLA-DR3対立遺伝子は全身性エリテマトーデスに対して独立した感受性を有している	Arthritis & Rheumatism (日本語版)	川合眞一, 木村友厚, 山本一彦	Black Well, Science Japn, (東京)	34, 2000
橋本博史, 八木田秀雄, 高崎芳成, 小林茂人, 戸叶嘉明	全身性エリテマトーデスの発病前病態におけるT細胞機能の解析	文部省基盤研究(B)研究成果報告書			1-13, 2000
吉田俊治, 近藤啓文, 高崎芳成, 原まさ子, 三崎義堅, 三森経世, 深谷修作	肺高血圧症を合併した膠原病患者の治療状況に関する検討	厚生省特定疾患対策研究事業 混合性結合組織病に関する研究班平成11年度研究報告書	近藤啓文	厚生省特定疾患対策研究事業 混合性結合組織病に関する研究班	15-18, 2000
高崎芳成, 官川 薫, 竹内 健, 金田和彦, 池田圭吾: 橋本博史	MCTDおよび各種膠原病におけるエピソードの解析	厚生省特定疾患対策研究事業 混合性結合組織病に関する研究班平成11年度研究報告書	近藤啓文	厚生省特定疾患対策研究事業 混合性結合組織病に関する研究班	53-55, 2000
高崎芳成	ネフローゼ症候群の基準に達する蛋白尿は若年発症全身性エリテマトーデス(SLE)患者において早期動脈硬化発症の危険因子となる	Arthritis & Rheumatism (日本語版)	川合眞一, 木村友厚, 山本一彦	Black Well, Science Japn, (東京)	38, 2000
高崎芳成	リウマトイド因子	リウマチナビゲーター	中村耕三, 山本一彦, 原 まさ子	メディカルレビュー社, (東京)	72-73, 2000

高崎芳成	抗DNA抗体	リウマチナビゲーター	中村耕三, 山本一彦, 原まさ子	メディカルレビュー社, (東京)	74-75, 2000
高崎芳成	線維性筋痛症候群	リウマチナビゲーター	中村耕三, 山本一彦, 原まさ子	メディカルレビュー社, (東京)	206-207, 2000
岡田 純	塩酸プロカインアミドとSLE様症状	この薬のこの副作用 第2版	松田重三	医歯薬出版 (東京)	296-299, 2000
岡田 純	抗U1RNP抗体陽性例における無菌性髄膜炎	膠原病診療; 専門医によるベストアドバイス	竹原和彦、近藤啓文、桑名正隆、宮地良樹	診断と治療社 (東京)	182-184, 2000
岡田 純	ひとアジュバンド病	今日の治療指針2001年版	多賀須幸男、尾形悦郎	医学書院 (東京)	646-647, 2001
岡田 純	全身性エリテマトーデスの診断と治療	Year note series : SELECTED ARTICLES 2001-2002		MEDIC MEDIA	815-822, 2000
岡田 純	全身性エリテマトーデスと精神症状	膠原病診療; 専門医によるベストアドバイス	竹原和彦、近藤啓文、桑名正隆、宮地良樹	診断と治療社 (東京)	26-27, 2000
岡田 純	膠原病と遺伝	膠原病診療; 専門医によるベストアドバイス	竹原和彦、近藤啓文、桑名正隆、宮地良樹	診断と治療社 (東京)	8-11, 2000
岡田 純、近藤啓文	薬物: 化学物質誘発性自己免疫疾患 その他の自己免疫疾患	領域別症候群シリーズ No.31 免疫症候群 上巻		日本臨床社 (大阪)	503-507, 2000
原まさ子	全身性エリテマトーデス	膠原病・リウマチ診療	斎藤輝信、戸松泰介、原まさ子	メディカルレビュー社	73-160, 2000
原まさ子	早期慢性関節リウマチの診断(1)(2)	膠原病診療専門医によるアドバイス-困ったときにどう考えるか	竹原和彦、近藤啓文、桑名正隆、宮地良樹	診断と治療社	140-143, 2000
原まさ子	Shulman症候群、びまん性好酸球増加性筋炎	別刷日本臨床 免疫症候群			396-371, 2000
原まさ子	高齢者でのNSAIDs投与の注意点	NSAIDs Q&A	川合眞一、山本一彦	日本医学出版(東京)	133-135, 2000
原まさ子	妊婦、授乳期のNSAIDs投与の注意点	NSAIDs Q&A	川合眞一、山本一彦	日本医学出版(東京)	136, 2000
原まさ子	アザチオプリンと6-メルカプトプリン	免疫抑制薬の選び方と使い方	三森経世	南江堂(東京)	20-25, 2000
近藤啓文、三崎義堅、北里英郎、三森経世、吉田俊治、高崎芳成、大久保光夫、岡田 純、青塚新一、原まさ子、吉尾卓	混合性結合組織病の病態、治療と抗U1RNP抗体に関する研究	厚生省特定疾患対策研究事業 混合性結合組織病に関する研究班平成11年度研究報告書			1-4, 2000
原まさ子、川口鎮司、高木香恵	MCTDにおける肺高血圧症の研究	厚生省特定疾患対策研究事業 混合性結合組織病に関する研究班平成11年度研究報告書			31-34, 2000
原まさ子	シクロスポリンとフェニトイン	この薬の他剤併用副作用	松田重三	医歯薬出版	138-141, 2000

原まさ子	ブシラミン天疱瘡疹	この薬のこの副作用	松田重三	医歯薬出版	286-287, 2000
原まさ子	膠原病	すぐに役立つ最新初期治療ノウハウ	中谷和章、三輪剛	クリニックマガジン	170-173, 2000
原まさ子	PM/DMにおけるIL-15の発現とその役割	厚生省特定疾患対策研究事業 自己免疫疾患の病因・病態解析と新たな治療法の開発に関する研究 平成11年度研究業績報告書			98-108, 2000
原まさ子	抗リン脂質抗体症候群	今日の治療指針			643-644, 2000
原まさ子、石塚俊晶、鈴木王洋	両側不全麻痺をきたした28歳女性	専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 膠原病、リウマチ			90-98, 2000
吉田俊治	同種血輸血による免疫抑制と免疫学的諸問題	整形外科自己血輸血実践マニュアル	中井定明、土井一輝、西島雄一郎、奥津一郎、佐々木孝、藤 哲	全日本病院出版会	65-69, 2000
吉田俊治	混合性結合組織病と肺高血圧症	膠原病診療	竹原和彦、近藤啓文、桑名正隆、宮地良樹	診断と治療社	180-181, 2000
吉尾卓、奈良浩之、金子尚子、狩野庄吾、蓑田清次	膠原病に伴う肺高血圧症例の抗トロンボモジュリン抗体、抗アネキシンV抗体の検討。	厚生省特定疾患対策研究事業混合性結合組織病に関する研究班-混合性結合組織病の病態、治療と抗U1RNP抗体に関する研究-平成11年度研究報告書	近藤啓文		40-44, 2000
大久保光夫、前田平生	『産婦人科手術の基礎』輸血・輸液・自己血	新女性医学大系 第6巻	武谷雄二	中山書店(東京)	121-129, 2000
大久保光夫	大動脈炎症候群、	わりやすい内科学第2版	井村裕夫	文光堂(東京)	印刷中

[IV]

平成12年度班会議プログラム

プログラム

開会の辞 (10:00~10:05)

主任研究者 近藤啓文

厚生労働省挨拶 (10:05~10:15)

健康局疾病対策課

I. MCTD 研究の展望 (10:15~10:20)

北里大学医学部内科

○近藤啓文

II. 抗 U1RNP 抗体の臨床 (10:20~11:00)

座長 近藤啓文、原まさ子

1. 混合性結合組織病臨床調査個人票からの MCTD の疫学的調査

北里大学医学部内科

○近藤啓文、岡田 純

2. 抗 U1RNP 抗体陽性例のプロジェクト多施設共同研究の中間報告

北里大学医学部内科

○岡田 純、近藤啓文

3. 抗 U1RNP 抗体抗体価の変化による臨床像の修飾

北里大学医学部内科

○岡田 純、玉眞桂子、
石川 章、近藤啓文
岡野哲郎

北里大学医療衛生学部臨床免疫

III. 肺高血圧症の病態生理・臨床 (11:00~12:10)

座長 吉田俊治、岡田 純

1. MCTD に併発する肺高血圧症発症機序の検討: 血管作動性因子発現の解析

東京女子医大附属膠原病リウマチ痛風センター

○川口鎮司、原まさ子

2. 肺高血圧症に及ぼすステロイド剤の影響に関する組織化学的検討

藤田保健衛生大学医学部感染症リウマチ内科

○片山雅夫、吉田俊治、
竹田洋祐、玉熊桂子、
鳥飼勝隆
笠原正男

藤田保健衛生大学医学部第一病理

3. 膠原病 4 疾患における肺高血圧症の治療状況に関する全国疫学調査

藤田保健衛生大学医学部感染症リウマチ内科

北里大学医学部内科

○吉田俊治、深谷修作
岡田 純、近藤啓文

4. 抗 U1RNP 抗体陽性例における肺高血圧症の発症頻度とその臨床像に関する研究

北里大学医学部内科

○玉眞桂子、岡田 純、
石川 章、近藤啓文

5. 肺高血圧症に対する持続注入プロスタサイクリン製剤の治験計画について

北里大学医学部内科

○近藤啓文

事務連絡 (12:10~12:20)

事務局

IV. 抗 U1RNP 抗体の性状および産生機序 (13:10~14:10) 座長 三森経世、三崎義堅

1. 抗 U1RNP 抗体産生を刺激する Th1 細胞と関連する臨床病態

- MRL/Mp-Fas *lpr* マウスにおける検討 -

慶応義塾大学内科
京都大学臨床免疫学

○藤井隆夫
三森経世

2. MCTD における抗 RNP 抗体産生機序に関する研究

- プリスタン誘導抗 RNP 抗体産生マウスモデル B 細胞特異的発現遺伝子の検討 -

東京大学医学部附属病院アレルギーリウマチ科

○三崎義堅、瀬戸口京吾、
山口晃弘、川畑仁人、
山本一彦

3. U1RNP の高次構造を認識する自己抗体の測定系

順天堂大学医学部 膠原病内科

医学生物学研究所

○高崎芳成、矢野哲郎、
官川 薫、金田和彦、
川口里江子、池田圭吾
松平 蘭、竹内 健、
村上昭弘

4. 抗 U1RNP 抗体の内皮細胞結合活性

国立国際医療センター研究所
国立国際医療センター研究所膠原病内科

○大川雅子、青塚新一
木下牧子、隅谷護人

V. MCTD の病態と自己抗体 (14:10~15:10) 座長 高崎芳成、青塚新一

1. 遺伝子改変ループスマウスにおける抗 RNP 抗体価・抗 DNA 抗体価との比較

佐賀医科大学内科

○多田 芳史

2. ELISA 及 PCR 法を用いた MCTD における クラミジアニューモニエ感染の比較検討

北里大学医学部微生物学
北里大学医学部内科

○北里英郎
岡田純、近藤啓文

3. マウスモノクローナル抗トロンボモジュリン抗体の血管内皮細胞に及ぼす影響

自治医科大学アレルギーリウマチ科

○吉尾 卓、奈良浩之、
箕田清次

4. MCTD と胎児由来細胞の 19 番染色体上の RNP-A 遺伝子塩基配列の解析

埼玉医科大学総合医療センター 輸血・細胞治療部

○大久保光夫

評価小委員会の総合コメント (15:10~15:40)

閉会の辞 (15:40)

評価小委員会 (15:45~16:15)

主任研究者 近藤啓文

[V]

厚生省特定疾患 混合性結合組織病に関する研究班
第28回臨床免疫学会合同シンポジウム プログラム

厚生省特定疾患 混合性結合組織病に関する研究班・第28回臨床
免疫学会合同シンポジウム

記

1. 日時 平成12年9月30日(土) 15:30~17:30

2. 演題 座長 中林公正 (杏林大学医学部第一内科)

近藤啓文 (北里大学医学部内科)

シンポジウムタイトル「混合性結合組織病並びに関連する疾患の難治性病態とその治療」

1) MCTDの肺高血圧症

岡田 純 (北里大学医学部内科)

2) 混合性結合組織病(MCTD)の髄膜炎

三森経世 (慶應義塾大学医学部内科リウマチ研究室)

3) 膜性ループス腎炎

中野正明 (新潟大学医学部内科学第二)

4) 強皮症腎クリーゼ(SRC):高血圧性、非高血圧性

遠藤平仁 (北里大学医学部内科)

5) MPO-ANCA関連血管炎

神谷康司 (杏林大学第一内科)

6) 皮膚筋炎・多発性筋炎の間質性肺炎

斎藤栄造 (東邦大学医学部附属大橋病院第4内科)

7) 全身性エリテマトーデスの中樞神経病変

高林克日己 (松戸市立福祉医療センター東松戸病院内科)

8) 血球貪食症候群

熊倉俊一 (島根医科大学第三内科)

[VI]

平成12年度分担研究者名簿

混合性結合組織病に関する研究班

区 分	氏 名	所 属	職 名
主任研究者	近藤 啓文	北里大学医学部内科	診療教授
分担研究者	三崎 義堅	東京大学医学部附属病院内科	講 師
	三森 経世	京都大学大学院医学研究科臨床生体統御医学講座臨床免疫学	教 授
	高崎 芳成	順天堂大学医学部膠原病内科	助 教 授
	岡 田 純	北里大学医学部内科	助 教 授
	原 ま さ 子	東京女子医大附属膠原病リウマチ痛風センター	教 授
	北里 英郎	北里大学医学部微生物学	講 師
	吉田 俊治	藤田保健衛生大学医学部感染症リウマチ内科	助 教 授
	大久保 光夫	埼玉医科大学総合医療センター輸血部	講 師
	青塚 新一	国立国際医療センター研究所	室 長
研究協力者	吉尾 卓	自治医科大学アレルギー膠原病教室	講 師
	塩沢 和子	国立加古川病院内科	内 科 医 長
	山田 秀裕	聖マリアンナ医科大学 リウマチ膠原病アレルギー内科	助 教 授
	堤 明 人	筑波大学医学専門学群 膠原病リウマチアレルギー内科	講 師
	縄田 泰史	千葉大学医学部第二内科免疫学教室	助 手
	多田 芳史	佐賀医科大学内科	助 手
(事務局) 経理事務連絡担当 責任者	岡 田 純	北里大学医学部内科 〒228-8555 神奈川県相模原市北里1-15-1 TEL (042)778-8111 (内線9347) FAX (042)778-9465	助 教 授

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業
混合性結合組織病に関する研究班
平成12年度研究報告書

発行 平成13年3月31日

発行所 神奈川県相模原市北里1丁目15番1号

北里大学医学部内科

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業

混合性結合組織病に関する研究班事務局

TEL : 042-778-8111

FAX : 042-778-9465

印刷所 株式会社 日相印刷

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業

混合性結合組織病に関する研究班

- 混合性結合組織病の病態、治療と抗U1RNP抗体に関する研究 -

平成12年度 研究報告書

平成13年3月

主任研究者 近藤啓文

目 次

[I] 主任研究者報告	
平成12年度総括報告	1
近藤 啓文 (北里大学医学部内科)	
[II] 分担研究者報告	
1. 混合性結合組織病臨床調査個人票からのMCTDの疫学的調査	
近藤 啓文 (北里大学医学部内科)	5
2. 抗U1RNP抗体陽性症例の臨床経過に関するプロスペクティブ多施設共同研究 - 2	
近藤 啓文 (北里大学医学部内科)	9
3. 抗U1RNP抗体抗体価の変化による臨床像の修飾	
岡田 純 (北里大学医学部内科)	13
4. MCTDに併発する肺高血圧症発症機序の検討 - 血管作動性因子発現の解析	
原 まさ子 (東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター)	18
5. 肺高血圧症に及ぼすステロイド剤の影響に関する組織化学的検討	
吉田 俊治 (藤田保健衛生大学感染症リウマチ内科)	23
6. 膠原病4疾患における肺高血圧症の治療状況に関する全国疫学調査	
吉田 俊治 (藤田保健衛生大学感染症リウマチ内科)	28
7. 抗U1RNP抗体陽性例における肺高血圧症の発症頻度とその臨床像に関する研究	
岡田 純 (北里大学医学部内科)	32
8. 抗U1RNP抗体産生を刺激するTh1細胞と関連する病理所見	
- MRL/Mp-Fas ^{lpr} マウスにおける検討 -	
三森 経世 (京都大学臨床免疫学)	36
9. MCTDにおける抗U1RNP抗体産生機序に関する研究	
- 抗U1RNP抗体産生マウスB細胞特異的発現遺伝子の解析	
三崎 義賢 (東京大学アレルギーリウマチ内科)	42
10. U1 RNPの高次構造を認識する自己抗体の測定系	
高崎 芳成 (順天堂大学膠原病内科)	45
11. 抗U1-RNP抗体および抗dsDNA抗体の抗内皮細胞抗体活性	
青塚 新一 (国立国際医療センター研究所臨床免疫研究室)	50
12. ELISA及びPCR法を用いたMCTDにおける <i>Chlamydia pneumoniae</i> 感染の比較検討	
北里 英郎 (北里大学医学部微生物)	57
13. モノクローナルマウス抗トロンボモジュリン抗体の血管内皮細胞に及ぼす影響	
吉尾 卓 (自治医科大学アレルギー膠原病科)	62
14. MCTD患者と胎児由来細胞の19番染色体上のRNP-A塩基配列の解析	
大久保光夫 (埼玉医大総合医療センター輸血・細胞治療部)	66
[III] 平成12年度業績目録	
1. 雑誌	71
2. 単行本	79
[IV] 平成12年度班会議プログラム	83
[V] 厚生省特定疾患混合性結合組織病に関する研究班・第28回臨床免疫学会合同シンポジウム	
プログラム	85
[VI] 平成12年度分担研究者名簿	87